

令和6年度

教科書調査研究報告書

中学校

書 写

富士地区教科用図書採択連絡協議会  
富士地区教科書研究委員会

## I 調査研究対象教科書

発行者	書名	学年
2 東京書籍	新編 新しい書写	1～3年
15 三省堂	現代の書写	1～3年
17 教育出版	中学書写	1～3年
38 光村図書出版	中学書写	1～3年

## II 調査研究の観点

### 1 内容

- (1) 書写の能力を各教科等の学習活動や日常生活に生かすために、どのような工夫がされているか。
- (2) 書写への興味・関心を高め、文字を正しく整えて速く書く能力を高めるために、どのような工夫がされているか。

### 2 組織・配列・分量

- (1) 毛筆で身に付けた能力が硬筆の書写の能力の基礎として定着するために、毛筆指導と硬筆指導との教材のバランスや配列は、どのように工夫されているか。
- (2) 生徒が主体的に学習を進めるために、どのような工夫がされているか。

### 3 生徒の発達段階への配慮

生徒の発達段階や生活体験、興味・関心に応じるために、教材やその提示の仕方はどのように工夫されているか。

## 別紙様式 2

種目名	書 写
-----	-----

発行者 番号	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
略 称		
2 東 書	新しい書写	<p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字を整えて書くための汎用的なポイントを「書写のかぎ」として示している。</li> <li>・单元ごとにポイントを分かりやすくまとめ、実際の筆の動きまで、しっかりと流れがつかめるようになっている。点画の基本から平易な文につながっていて導入がしやすい。</li> <li>・「生活に広げよう」のページでは、書写で学んできた文字の配列やバランス、行書の筆の動きなどを、ポスターや年賀状などの生活の中に生かして書くことについて考えられる。巻末には「書写活用ブック」もあり、のし袋や新聞、手紙の書き方などが掲載されているため、生徒が実生活での書写の活用方法を確認することができる。</li> </ul> <p>&lt;組織、配列、分量&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な筆記具について取り上げられている点など、生徒が身の回りの書に注目できるようなきっかけが充実している。</li> <li>・学年ごと書写を学ぶ目的が明記されており、学びやすい。また「書写テストに挑戦」が、学習段階のアクセントとなっている。</li> <li>・各学年で求められる資質・能力を意味付けられるように精選し、硬筆と毛筆の学習ができるように工夫されている。1 单元 1 事項、反復学習ができるようになっている。</li> </ul> <p>&lt;児童の発達段階への配慮（表現）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活に生かせそうな場面の紹介があり、自分ごととして学べる構成になっている。</li> <li>・キャラクターを用いた始筆や終筆の解説など、親しみやすい。</li> <li>・特別支援教育への配慮として、カラーユニバーサルデザインなどを使用している。また、常用漢字表のフォントが手書きフォントであり、実生活で見る字体に近く、実用的である。</li> </ul> <p>&lt;総評&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「防災訓練」「バリアフリー」「職場訪問」など、SDG sに対応した題材が取り上げられている。</li> <li>・1年生は「身につける」2年生は「使い分ける」3年生は「使いこなす」という大きなテーマが設定されており、最終的には日常生活の中に生かすことを目指して構成されている。また、3年生には、高等学校への接続の学習内容として、「書の古典」が発展として設定されている。</li> </ul>

## 別紙様式2

種目名	書 写
-----	-----

発行者 番号 略 称	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
15 三省堂	現代の書写	<p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語の教科書の内容と関連した「書写」の教科書である。そのため、国語の単元が終わったところで書写を設定しやすいという利点が考えられる。また、内容も書に親しむ活動例が多く、書写を生活の中に生かそうとする構成が多い。</li> <li>・学習内容が一目でわかるように示されているので、学習者自身が主体的に進めやすく、学びへの意欲を得やすそうな構成になっている。</li> </ul> <p>&lt;組織、配列、分量&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・系統的・段階的に教材を配慮し、既習事項を活用しながら、学習を積み重ねていく構成になっている。資料等の内容も多いため少し厚くなっている。</li> <li>・「毛筆で学んだことを硬筆に生かそう」のページが各単元の最後にあり、毛筆と硬筆のつながりを意識して学習できる。</li> <li>・ワークシート形式になっているページが多く、直接書き込めるため、教科書があれば学習が行える。特に、「書いて身に付けよう」「やってみよう」があり、学習した内容を他教材や他教科、社会生活で活用できるようになっている。</li> </ul> <p>&lt;児童の発達段階への配慮（表現）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1、2年は基礎を学習できるような構成であり、その上で、指導要領にあるように、3年生は文字文化の豊かさを生かし、効果的に文字を書くことの必要性に目を向けられるよう作られている。</li> <li>・小学校・高校との連携を踏まえ、既習事項と発展的な内容が記載されている。</li> <li>・1ページの情報量が適量で、ユニバーサルデザインの観点からも配慮が感じられる。</li> <li>・動画リンクへの二次元コードが一覧表にまとめられていて、文字や静止画だけではイメージをもちにくい生徒にも視覚的な配慮がされている。</li> </ul> <p>&lt;総評&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書写の教科書の手本といえるようなシンプルな構成である。必要最小限の資料によって、情報量が抑えられており、教科書に書き込む際も生徒はどこに着目するのかわかりやすいだろう。その反面、個に応じた細かな技術面に関する課題に対しては、授業者の力量が問われる側面も考えられる。シンプルな構成故に、書写の指導に関し自信をもって取り組むための教材研究や準備には時間が必要そうな印象がある。</li> </ul>

## 別紙様式 2

種目名	書 写
-----	-----

発行者 番号	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
略 称		
17 教出	中学書写	<p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年生の「学校生活に生かして書く」では、本の帯やポップ、ポスター、レポートの書き方について、字形だけでなく、バランス、グラフの活用などにも触れており、他教科や総合的な学習などの教科横断的な学習を行うために有用である。</li> <li>・ 44ページの「大洋」の大的字のバランスが左に偏っているので、生徒たちが書きたくなるような魅力的な字形であるかについては疑問を持つ。手本となる題字の選定に課題がある。</li> <li>・ 筆、墨、硯などの用具、日本建築の中の書、看板や商品などの書に触れており、中学生がこれまで意識することのなかった、身の回りの書に気づくきっかけになると思われる。</li> <li>・ 116ページの「書写テストで確認」では、3年間の書写の学びの振り返りができるようになっている。</li> <li>・ 巻末の「漢字一覧表」が、他者とは違い、部首で配列されている。これによって、表にない文字の行書も、他の字の部分を抜き出したり、組み合わせたりして構成できる。</li> </ul> <p>&lt;組織、配列、分量&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書としてだけでなく、補足資料も豊富に掲載されており、内容が充実している。</li> <li>・ 1年生では「基本点画」や穂先の向き、筆圧など小学校で学んだことを復習した上で、中学校の学習に入れるようになっている。</li> </ul> <p>&lt;児童の発達段階への配慮（表現）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校から親しみがあり、中学校国語でも学習する金子みすゞの「ふしぎ」から始まっている。既習事項であるため、手書きの文字に着目することができ、書写の導入として有効である。</li> <li>・ 目移りするくらい情報があるので、使用する際にはどこに注目するのか指示を明白にする必要があるようである。</li> </ul> <p>&lt;総評&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ この教科書一冊とICT機器を併用できれば、授業者も困り感を抱きにくいと考えられるくらい、指導するために必要となる情報が豊富にまとめられている。そのため、文字について興味を持った生徒が、主体的に学びを進めたり広げたりするきっかけとなる教科書である。</li> </ul>

## 別紙様式 2

種目名	書 写
-----	-----

発行者 番号 略 称	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
38 光村	中学書写	<p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年のお手本に、学年や名前も入っていてバランスもとりやすい。また、書道の道具などについての資料が豊富である。</li> <li>課題字が見開きで大きく載っている。半紙サイズの手本を授業者が印刷しなくても用意できるため、生徒も授業者も学習において大変使い勝手が良い。</li> <li>「全国文字マップ」や漫画資料など、学習の導入に配慮するとともに、都道府県名や願書の書き方など、書写の学習を日常生活に生かせる内容となっている。</li> <li>学習の進め方を3ステップで記載しており、楷書と行書の違いを捉えたあとに、実際に書いて、硬筆で確認するまでが一連の学びとなっている。また、各学年の目標が明確化されており、限られた時間で、効率よく学習できるような工夫がみられる。</li> <li>書写ブックが付属されていることに加え、その他のページにもワークシートとして活用できるものが多い。</li> </ul> <p>&lt;組織、配列、分量&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楷書から行書への流れが自然で、学習を進めやすい。</li> <li>学年ごとに統一された配列になっている。分量も適切である。</li> <li>「三年間のまとめ」があり、学習した内容が分かりやすく整理されている。また、3年間を通して、硬筆の見直しもでき、書き初めの教材も充実している。</li> </ul> <p>&lt;児童の発達段階への配慮（表現）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1年生の「行書スイッチを入れよう」の二次元コードは、楷書から行書への変化を、アニメーションを入れながら分かりやすく説明している。また、姿勢や筆致など、動きを確認したいものについては、動画が見られる資料が多い。</li> <li>カラーページは色合いを抑えたものであり、レイアウトも整理されているため、色とりどりのものを見ることに抵抗を感じる生徒や、色覚異常のある生徒にとっても学習しやすいと考えられる。</li> </ul> <p>&lt;総評&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>考える教材なども掲載されているため、様々な授業が想定できる。</li> <li>手本は半紙サイズになっており、実際のバランスをとりやすい。</li> <li>二次元コードによる解説動画が充実している。</li> <li>強度がありつつも薄くて軽い紙が使われている。</li> <li>手書きの大切さを伝えるマンガや全国文字マップが掲載されているのが魅力的である。</li> </ul>